

金剛地区再生指針の位置づけと構成（案）

1. 再生指針の位置づけ（案）

- ・この指針は、金剛地区に関係するあらゆる人（住民、土地建物所有者、事業者、行政、市民団体等）が一丸となって金剛地区の再生・活性化に取り組むために共有するビジョンとして、「目指すまちの将来像」と将来像実現のために「重点的に取り組む項目」などをとりまとめるものと位置づけます。
- ・金剛地区の再生は、建設当初の都市基盤・建築物などが更新時期を迎える2040年頃までを見据えて進めるものと想定しますが、この指針での「金剛地区の目指す将来像」は、これから10年後（2026年頃）を見据えて描きます。なお、着実に再生を進めていくために、取り組み項目毎に、短期（2～3年）、中期（4～5年）、長期（6～10年）の到達目標や、取り組み体制、リーディングプロジェクトなども定めます。
- ・再生指針で位置づけた取り組み等は、進捗状況を管理していきます。また金剛地区を取り巻く状況の変化や取り組みの状況に応じて、見直しが必要な場合、改訂等を行うものとします。

2. 再生指針の構成（案）

0. 金剛地区再生指針とは

- ①背景と目的
- ②再生指針の位置づけ
- ③計画期間

1. 金剛地区の魅力と克服すべき課題

2. 金剛地区の目指す将来像

3. 将来像実現のための取り組み項目

4. 金剛地区再生の実現にむけて

- ①リーディングプロジェクト
- ②推進体制